

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	コミュニティ助成事業(自治総合センター事業)				開始年度	平成3年度	
基本目標	自治公民館活動の充実				終了年度		
担当課(局)	社会教育課	担当係	生涯学習係	記入者	三笠 浩三	評価者	三嶋 俊宏
21年度決算	9,500	千円	22年度予算	6,600	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	583 千円		22年度人件費	578 千円		事業従事者数	0.08 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	宝くじの売上金の一部が充てられる宝くじ広報事業で、備品等を整備しコミュニティ活動の推進を図る。
事業の内容	コミュニティ組織(町内の自治会・町内会など)地区住民のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備に関する事業。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# コミュニティ申請手続	事業への取組みをするなかでなかで、自治組織の活発化、向上心が図られた。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 自治公民館総会	総会で各自治公民館に周知し希望を募り、説明会を実施した。
	2 コミュニティ助成事業説明会	高額補助のため、人気が高く毎年応募が増えている。県、国への申請のため事務量も増えている。
	3	

◎達成状況

		指標名	単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	コミュニティ申請手続	目標値	円	10,000,000	9,500,000	6,600,000
		実績値		10,000,000	9,500,000	
		達成率		100.0%	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	自治公民館総会	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率		100.0%	100.0%	
	コミュニティ助成事業説明会	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率		100.0%	100.0%	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	地方自治体財政の窮地により、この事業は唯一欠かせない事業である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	この事業を取り入れた自治公民館活動は更に活性化し、人づくり、地域づくりに大きく役立っている。自治公民館相互の協力体制の強化が必要である。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	高額補助のため人気が高く、毎年応募が増えている。そのため職員の業務(事務量)も増えている。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	住民との連携密度は濃くなる。

事務事業名	コミュニティ助成事業(自治総合センター事業)	担当課(局)	社会教育課
-------	------------------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見</p> <p>◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>この事業については、担当課のお任せ事業にならないよう公民館(申請者)に主体性を持たせることが重要である。</p> <p>国の行政刷新会議、事業仕分けにおいて廃止の評価結果となったので、今後、この助成事業の有無について経過を注視する必要がある。</p>	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎宝くじ広報普及事業の中の「コミュニティ助成事業」が「社会貢献普及事業」と名称
	コスト	現状維持	